



地域振興・機体活用プロジェクト「空恋」霧島山のふもと たかはる号

ソラシドエアと宮崎県高原町が包括的連携協定を締結！

ソラシドエア(本社:宮崎県宮崎市、代表取締役社長:高橋 洋)は、2016年2月3日(水)に、宮崎県高原町と地域社会発展に寄与することを目的とした包括的連携協定を締結しました。

宮崎県高原町は、ソラシドエアの機体活用プロジェクト『空で街と恋をする(通称:空恋プロジェクト)』の11番目の空恋パートナーとして、2014年9月から「霧島山のふもと たかはる号」を就航しました。また、「日本で最も美しい村」連合*1に加盟し、2014年の町制施行80周年になる高原町の魅力をPRすべく、機体側面には、同町のシンボル霧島山がモチーフになっていました。2015年10月に、約1年間の空恋PRを終え、この度包括連携協定を締結する運びとなりました。

*1「日本で最も美しい村」連合は、「フランスの最も美しい村」運動に範をとり、日本の伝統的な農山漁村の景観・文化を守りつつ、最も美しい村としての自立を目指す運動を行うNPO法人です。

宮崎県高原町とソラシドエアは、宮崎ブーゲンビリア空港で行われた「空の日」イベントでの共同PRや宮崎県が主催する東京・下北沢で行われた「宮崎 weeeek!! in 下北沢大学」のイベントで、高原町の寒暖差が激しく霧が濃く、そして水が綺麗なことを活かして作られた高原紅茶「ゆるり」のPR配布を行うなど、共に宮崎県高原町の魅力を発信する活動を通して、交流を深めてまいりました。

この度、「霧島山のふもと たかはる号」が約1年間のフライトを終えたことを契機に、今後も、より一層相互に連携しながら、観光や地域産業、地域文化等に加え、航空文化の振興に努めてまいります。

今後、高原町とソラシドエアは、地域発展の寄与を目的とし、“ふるさと納税のお礼品”として、飛行機での移動を組み込んだ高原町への旅行プラン策定の検討など、自治体とエアラインが相互連携した様々な取り組みを行ってまいります。

ソラシドエアでは、今後も「九州・沖縄の翼」としてより一層地域の皆様との絆を深め、地域になくてはならないエアラインとして、地域振興の取り組みを行ってまいります。



締結式の様子



地域振興・機体活用プロジェクト“空恋”
「霧島山のふもと たかはる号」

株式会社ソラシドエア

www.solaseedair.jp

ソラシドエアは、本社を宮崎県宮崎市に構え「九州・沖縄の翼」として羽田・沖縄と九州を結ぶ路線を展開しています。全機新型ボーイング737-800機に揃え(12機保有)、リーズナブルな運賃とソラシドエアらしいおもてなしのサービスで毎日10路線68便を運航しています。

ブランドコンセプト“空から笑顔の種をまく。”の下、キャッチコピー『メイク・ワンダー！今までにない新しい笑顔のために。』を掲げ、驚き、感動そしてワクワクなサービスを目指してまいります。

地域と連携した地域振興・機体活用プロジェクト「空恋」や女性向けサービス「ソラ女子」などお客様に笑顔を届ける取り組みを展開中。

ソラシドエア ホームページ：<http://www.solaseedair.jp>